

ワンダリックの使い方 アイデア集 (50種類の使い道)



PIQUA 有限会社ピクア

<http://members.jcom.home.ne.jp/piqua-1/>

TEL. 03-3978-1322

INDEX

字消し・印刷消し

※液のしみ込まない素材等に限られます

1. 鉛筆・色鉛筆
2. ボールペン
3. 油性マーカー・サインペン
4. クレヨン・ダーマトグラフ
5. 修正ペン・ペイントマーカー
6. コート紙・アート紙の印刷
7. 熱転写プリンタ
8. 油性スタンプ
9. ホワイト修正テープ
10. ホワイトボード

汚れ落とし

※油性系の汚れに限られます

11. プラスチック製品・家電製品
12. スチール製品
13. 台所のレンジ周囲
14. 台所の汚れいろいろ
15. 家庭のさまざまな汚れ
16. OHPやコピー機のガラス台
17. 車のさまざまな汚れ
18. 看板
19. ガラスのギラつき
20. CD/DVD
21. 浴槽の黒ずみ
22. プラモデル・フィギュア
23. 腕時計の金属バンド
24. ゴム印・印鑑
25. 手についたマーカーやペンキ
26. マニキュア・ネイルアート
27. 口紅
28. 油じみ
29. タバコのヤニ
30. 金属製品・金属部品・電気部品

はがせるもの

※合成(化学)接着剤等に限られます

31. シール・ラベル・値札
32. 封筒
33. セロテープ・ポリテープ
34. 台紙への貼り込み
35. カットイングシート
36. 糊跡
37. 刃についた粘着剤
38. スプレーボンド
39. ガム
40. 床についた粘着剤

変わった使い方

※さまざまな裏ワザのご紹介

41. 油性マーカーの復活
42. 固まったペンキの刷毛
43. クレヨンが絵の具に
44. ぼかし液
45. 透かし液
46. セロテープの貼れないコピー
47. 除菌消毒
48. 機械部品の洗浄
49. 脱脂
50. 離型剤の除去

ワンダリックはこの他にも
さまざまな汚れが落せます。
「こんなものが落とせた」と
いう体験をお寄せください。

■ワンダリック研究会 宛
E-mail : piqua-1@jcom.home.ne.jp

字消し・印刷消し

トレーシングペーパーなどの液のしみ込まない素材に書いた文字や、コート紙・アート紙に印刷された文字や写真を消すことができます。

1 トレーシングペーパーに鉛筆で書いた図面を修正できます。ケシゴムは消しませんが、掃除が大変ですが、ワンダリックなら何も残りません。もちろん色鉛筆もOKです。

2 トレーシングペーパーに書いたものであれば、ボールペンも黒・赤を問わず簡単に消せます。ペン先のインクだまりによるボタ落ちの汚れを消すのにも便利です。

3 油性のサインペンやマーカーで書いた文字が消えます。ファイルに書いたタイトルを変更したいときや、兄弟でお兄ちゃんの使ったバッグを弟が使う時の名前消し、写真（銀塩式）に書き込んだ文字などもきれいに消せます。

4 クレヨンの落書きが消えます。床や机の上に書いたり、冷蔵庫やキャビネットについたものも落とせます。鉛筆の形をしたダーマトグラフも消せます。

5 ホワイト修正ペンで白文字を書くことができますが、このインクも消すことができます。ペイントマーカーも種類によっては消すことができます。

※水性の筆記具は消すできません。

6 印刷されたパンフレットやカレンダーの不要な文字を消すことができます。（アート紙・コート紙の印刷物）もちろん印刷インクであれば、写真や絵もさっと消すことができます。

7 熱転写式のプリンターの文字を消すことができます。トレペやコート紙であれば完全に消すことができますが、普通紙の場合は薄く文字が残ることがあります。

8 トレペの図面に押した油性スタンプ（不滅スタンプ）の印を消すことができます。押し間違えたりかすれてしまっても、やり直しがOKです。

9 乾式コピーやレーザープリンターでプリントしたものを修正したホワイト修正テープを消して、元に復活させることができます。

10 ホワイトボードに間違えて油性マーカーで書いてしまったものを消すことができます。ワンダリックがあれば、油性ペンもホワイトボードマーカーとして使えますが、多用すると表面が傷む恐れがありますので注意。

※メーカーや種類によっては消せないものもあります。

ワンダリックの特長

汚れを「溶かして、固めて、はがし取る」という、新しい発想で生まれたクリーナーです。だから、使い心地が今までとはまったく違います。（コピー転写の原理を応用した、汚れ除去方法です。）

- あきらめていた汚れが、まるで魔法のように簡単に落とせます。
- 2度拭きが必要。ティッシュにつけて軽くひと拭きでOKです。
- 拭き終わった瞬間、もう乾いてさらっとしています。
- 臭いや洗浄成分がまったく残らず、さわやかな使い心地です。
- 水を含まないで、水濡れに弱い素材でも大丈夫です。
- わずかな量で消せるので、大変経済的です。
- 消すだけでなく、さまざまな役に立つ機能を持っています。

ご家庭で、仕事場で、これ1本でいろいろな用が足ります。

- ◆ 字消し ◆ 印刷消し ◆ 落書き落とし ◆ 汚れ落とし ◆ ガラスみがき
- ◆ OAクリーナー ◆ 台所クリーナー ◆ カークリーナー ◆ 除菌消毒
- ◆ シール・値札はがし ◆ マーキングフィルムはがし ◆ ガムはがし
- ◆ 脱脂 ◆ 糊跡除去 ◆ しみぬき ◆ 金属洗浄 ◆ すかし液 ◆ その他

「ワンダリック」は、ワンダー（すごい）と、リキッド（液）を合成して作った名前です。

■ワンダリックのお求めは

〒182-0005 (代理店)
東京都調布市東つつじヶ丘 3-43-3
有限会社 アートキューブ
E-mail artcube@art-cube.co.jp TEL03-5314-2870

汚れ落とし

雑巾で拭いてもなかなか落ちない頑固な汚れも、ワンダリックならサッとひと拭きで落とすことができます。今迄の苦労がうそのよう。

11 プラスチック製品や家電製品の汚れ落としに便利です。オフィスやお店で汚れているものの代表選手といえば、電話機やレジスター、セロテープカッターなど。これらが一瞬のうちには新品同様に生まれ変わります。電気コードの汚れにも最適です。白いメラミンスポンジでは傷ついてしまう素材にはうってつけです。

12 スチール製品の汚れ落としに。机やキャビネット、物品棚など、年数が経つと汚れも落ちにくくなり、オフィス全体が暗く汚い印象になります。まず洗剤をつけた雑巾で全体の汚れをざっと拭き取り、落ちなかった汚れの部分をワンダリックで落とすようにすれば、広い面積も効率良く清掃できます。

13 台所のレンジの周囲の油汚れに。換気扇やガスレンジの上、周りのタイル壁など、台所の汚れは奥様方の一番の憂鬱のタネです。油とホコリが一緒になって固まる前に拭き取りましょう。

14 台所のさまざまな汚れ、電子レンジの内側の油の飛び散り、冷蔵庫の中でこぼれたドレッシング、乳製品の汚れなどに。食器もOKです。

※台所では、横で火をつかいながら清掃はしないでください。(引火性)

15 家庭内のさまざまな汚れに。故障はしていないのに、汚くなったというだけで、モノを買い替えていた時代は過ぎ去りました。ワンダリックで新品同様に生まれ変わるものが、身の周りにたくさんあります。リサイクルショップに出すときも、きれいな方が高く買ってもらえます。

16 OHPやコピー機の内稿台ガラスの清掃に。ガラスの汚れは、そのままコピーに写り込んでしまいます。せっかくの提出資料が台無しにならないよう、ワンダリックで常にきれいにしておきましょう。

17 車の汚れ、ワイパーやアルミホイール、ミラー、ウインドーの清掃に。車につく汚れは排気ガスによる油汚れが一番厄介です。紫外線を浴びて油が硬化する前に落とせば、フロントガラスのぎらつきも防げます。

18 汚れた看板の清掃に。看板は会社やお店の顔です。しかし、実際にはなんと汚い看板の多いことでしょう。看板は汚れが着きやすい材料でできている上、排気ガスによる油とほこりが付着しているのです。ワンダリックはペンキやカラーシートの色は落とさずに、汚れだけが落とせます。

19 ガラスのギラつきをとる。鏡やレンズ、ショーケース、ガラス容器など、手が触れるガラス製品は、手の脂がついてギラつきが生じます。ワンダリックはひと拭きで、すっきり透明な状態に戻せます。

20 CD、DVDの表面(光沢面)が汚れていると、音質に影響します。柔らかい綿にワンダリックを含ませて軽く拭いてください。(同じ盤を繰り返し拭かないでください。)

21 浴槽の黒ずみをとる。浴槽の縁などについている黒ずみは皮脂などタンパク質や石鹸です。これは油性汚れなので、水洗いでは落ちにくいので、ワンダリックでさっときれいにしましょう。(水気を乾かしてから拭いてください。)

22 プラモデルやフィギュアの塗装の失敗を消す。自動車の窓ガラスにはみ出してしまった塗料も、透明な窓が曇ることなく消すことができます。

23 腕時計の金属バンドの汚れ落としに。細かい隙間にたまった汚れは、汗の匂いも混じって大変不潔です。綿棒を使い、丁寧に清掃してください。ただし、時計本体はプラスチックに金属メッキをしてあるものもあり、メッキがはがれる恐れもあるため、避けてください。

24 ゴム印や印鑑の印面の汚れ取りに。プラスチックケースについて朱印の汚れも拭き取れます。

25 手についたペンキや油性マーカークーの汚れを落とす。石鹸でも落ちないマーカークーの汚れが簡単に落とせます。落としたあとは、手荒れ防止のため、ハンドクリームを塗っておくようにしましょう。

26 マニキュアを落とす。除光液が切れたときは、塗った直後ならワンダリックで落とせます。ネイルアートの描き直しなどにも使えます。ただし、緊急の場合のみで、常用はしないでください。(繰り返し使うと、爪を傷める恐れがあります。)

27 満員電車でつけられた口紅を落とす。汚れた部分の下にティッシュペーパーを当てておき、ワンダリックをたっぷり含ませたティッシュで裏から叩きます。(ただし、完全には落ちません。)

28 衣服についた油じみをとる。天ぷらや、とんかつ、ドレッシングなどでついたしみは、ワンダリックをティッシュに含ませて、揉むようにして落とします。

29 たばこのヤニをとる。ニコチンやタールも油汚れの一種です。ワンダリックでなるべく早く黄ばみをとっておきましょう。(時間が経つと取れなくなります。)

30 金属製品、金属部品の汚れ落としに。ワンダリックは水を含まないため、電気部品などでも安心して使うことができます。

はがせるもの

一度貼ったものをはがしたい、ということは結構多いものです。ワンダリックは粘着力を消してしまう、シールはがしのプロです。

31 シールやラベル、値札をはがせます。 紙のシールはワンダリックを筆で上から塗り(サランラップを当てて)1~2分経ってからそとはがします。プラスチックシールは、めくりながら、粘着面に筆でワンダリックを塗布しながらはがします。はがしたあとについているベタベタもすっきりとれます。

32 いったん封をした封筒を、再度開封する。 封をしたあと、手紙を書き直したくなったり、入れ忘れたものがあったり、そんな経験はありませんか？合成糊や両面テープを使った封筒であれば、ワンダリックを塗れば、紙が傷むことなく開封できます。

33 紙に貼ったセロテープをはがす。 ワンダリックを紙の裏側から塗れば、簡単にはがれます。和紙やティッシュペーパーのような弱い紙でも大丈夫です。

34 台紙に貼り込んだプリントペーパーをはがす。 スプレーボンドを使って台紙にコピーなどを貼り込んだものを貼り直したいときは、台紙の裏側からワンダリックを塗ればはがせます。両面テープで貼ったものもOKです。

※切手など、水性の糊をつかっただけのは、はがせません。

35 カットシートをはがす。 端をめくって、ワンダリックを粘着面に筆で塗りながら、ゆっくりはがしていきます。

36 セロテープや粘着シートをはがした後の糊跡を落とす。 何付箋をはがした跡のベタベタも取れます。

37 はさみやカッターの刃についた粘着剤のベタベタをふき取る。 多めのティッシュペーパーを四角く折りたたみ、ワンダリックをたっぷり含ませて、ゆっくり拭きます。くれぐれも手を切らないように注意してください。

38 スプレーボンドが飛び散って、周りがベタベタしたときは、ワンダリックをティッシュに含ませて、ぬぐうようにして拭いてください。

39 靴底や床についたガムを取る。 かたまりを取り去ったあと、ワンダリックを含ませたティッシュでゆっくりふき取ります。洋服やセーターについたガムもとることができます。

40 フローリングの床についた粘着剤の跡をとりす。 椅子の脚の底に貼った滑り止めや、傷防止のフェルトがはがれて、床についたベタベタもきれいに拭き取れます。

ちょっと変わった使い方

汚れを消したり、シールをはがすのが主目的のワンダリックですが、液の性質をうまく利用して、他にもさまざまな使い方ができます。

41 かすれてしまった油性マーカーを復活させる。 書けなくなったマジックインキも、捨てるのはちょっと待って。ワンダリックをペン先から注入すれば、まだしばらくは使えます。

42 固まってしまったペンキの刷毛を洗う。 ペンキの種類にもよりますが、家庭用の一般的なアクリル塗料であればOK。同様にアクリル絵の具も洗えます。

43 クレヨン溶いて、絵の具のようにして使う。 適当な紙にクレヨンをごすりつけ、筆にワンダリックをつけてクレヨンを溶かしながら描きます。

44 油性マーカーで描いた絵をぼかす。 紙に描いた絵の上に、ワンダリックを筆で塗れば、インクがにじんでぼかし絵になります。

45 コピー用紙にワンダリックを塗ると、紙が透けます。 転写などで位置合わせをしたいときなどに使えるテクニックです。

46 コピーにセロテープが貼れなかったことはありませんか？ 表面についている定着オイル(ワックス)のせいです。ワンダリックでコピー面を拭けばOK。

47 消毒液として使う。 ワンダリックにはアルコールが含まれているため、除菌用に利用できます。便座、受話器、手すりなどを拭いてください。(傷口等の身体には使用できません。)

48 機械部品の洗浄に。 歯車やネジなどの小さい部品を洗浄するときは、小さな容器にワンダリックを移し、部品を中に浸けて洗います。

49 プラスチックに印刷や塗装をする前の脱脂をする。 表面に油分や手垢がついていると、きれいに印刷できません。スプレーで塗装をするときも、表面をワンダリックで拭いておくと、ペイントの乗りがよくなります。

50 離形剤をふき取る。 離形剤とはプラスチック製品などを金型から抜き取りやすくするために、型に塗ってあるシリコンオイルです。ふき取っておくと、ラベルなどの着きが良くなります。コピーを転写する際も、素材の表面を拭いておけば、画像の密着強度が格段に強くなります。

※ご使用時、揮発成分が隣接する素材に影響を及ぼす可能性もあります。